

小山田信茂公関連史跡巡り

島崎

1, 目的

松姫様東下コースを辿り史跡を訪ねる。

2, コース



地図

- ① 大月駅 集合 8:45 出発 9:00 22名 1名当日欠席
- ② 金照庵跡 着 10:10 出発 10:40 八王子市立恩方第二小学校校庭
学校に事前に連絡してバスを停車させていただいた。用務員さん（卒業生で鍵を預かっている方）が開錠。
*小山田信茂公顕彰会の活動を理解くださった校長先生による許可がありました。
- ③ 夕やけ小やけふれあいの里 着 10:45 出発 11:00 トイレ休憩
大型バス駐車可。お土産屋あり。
- ④ 心源院 着 11:30 出発 11:50
ご住職は法要があり、話をお伺いすることが出来ませんでした。
道が狭くバスが入れず、通りで停車して下り、バスは西東京バス営業所に停車（短時間停車の許可の好意）。
見学終了時に電話連絡して通りで乗車した。
- ⑤ 廿里合戦跡 バスにて通過
金照庵跡に向う時にバスの中で、松本相談役より八王子千人隊の説明を受けました。
- ⑥ 信松院 着 12:30 出発 14:50
昼食、ご住職のお話をお伺いしました。
本堂内参拝。*通常見学出来ないスペースにも入れていただきました。
松姫様のお墓を参拝。
- ⑦ 首洗池 着 15:53 出発 16:20
小俣会長が教頭時代に利用されていた阿津川食堂に、ご厚意でバス駐車とトイレを借用しました。
- ⑧ 大月駅 着 17:00

3. 内容

- (1) 大月駅出発 会費 7.500円 集金 資料「松姫逃避ルートを訪ねてバスの旅」配布
松本相談役の「松姫様調査資料」配布

(1-1) 中央道バス移動中 大月～高尾山口

① 挨拶 武田副会長

② 挨拶 小俣会長

③ コース説明 武田副会長

松姫様の東下コースを通りたいが、陣馬峠の山梨県側の道が、バスが通れないので八王子側より金照庵跡に向う。
その他、本日のコースについて説明された。※信松院では通常非公開のところも見られます。

④ 説明 小俣会長

長年勤められていた津久井地区の知識で、中央高速から見える範囲の地域の説明をされた。
松姫様が通った上野原から藤野へは3本の道がある。松姫様は一番ゆるやかな道を通ったと思われる。
旧甲州街道は小仏峠を越えて駒木野病院のところを通る道です。

現在の甘里町は森林総合研究所多摩森林科学園や武蔵陵墓地の一部が大部分を占めているが、当時は広範囲の地域。

(1-2) 元八王子付近（甘里の合戦跡）

松本相談役説明

八王子城下は武田家・北条家が消滅後、浪人がうようよいて物騒だったため治安の為に千人隊が結成された。豊臣が滅ぶ迄は防衛部隊、豊臣が滅んで戦の無い時代には日光ご勤番となった。その後、元八王子から千人町に移った。

小俣会長 武田副会長の説明

小山田隊は案下峠の本通では無く、間道の小仏峠を通り進入して、慌てた北条勢が少数の小山田勢に負けた戦。武田本体は碓氷峠を越えて滝山城を攻め、その後小田原に向った。小山田隊は武田本体と一緒に小田原に向った説もあるが、小俣会長は津久井城の内藤氏を抑えるために津久井に向ったとの説をとる。続きは(6)項「首洗池」

(2) 金照庵跡

松姫様は、東下当初ここで半年程暮らして心源院に移る。

金照庵跡は陣馬街道の現上恩方町に有り。八王子の呼称は案下峠（道）、相模の呼称は和田峠を下った集落にある。

写真(2)-1 古地図 用務員（卒業生で鍵を預かっている方）から見せていただいた。山本勘助のお墓の記載もあるそうで、本当かどうか分からない部分もある。地図を見ても金照庵の位置はよく分からないそうです。

* 用務員さんのお宅の倉が焼けたので幕末30年前の資料は無いそうです。

写真(2)-2 校舎手前の建屋。下見時に案内されました。子供の展示室です。中に紙芝居的な資料があるそうですが、展示中で見られませんでした。

写真(2)-3・4・11 顕彰会散策

写真(2)-5～10 道路沿いの関所跡と金照院跡の碑



写真(2)-1 古地図



写真(2)-2 市立恩方第二小学校校舎（旧門より）



写真(2)-3 校庭散策



写真(2)-4 石碑散策



写真(2)-5 石碑全体



写真(2)-6 関場記碑



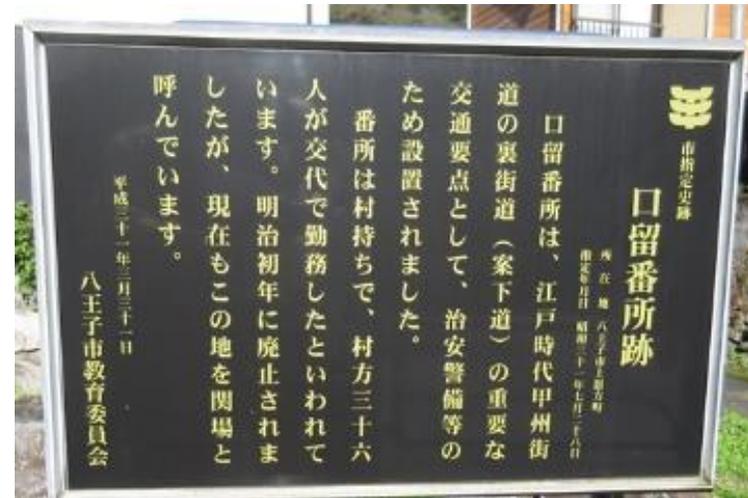
写真(2)-7 関所跡碑



写真(2)-8 金照庵跡碑



写真(2)-9 松姫之碑



写真(2)-10 口留番所跡説明板



写真(2)-11 関所跡での記念撮影（中央の方用務員さん） 写真(3)-1 夕やけ小やけふれあいの里

(3) 夕やけ小やけふれあいの里 トイレ休憩 *写真(3)-1 参照

同施設の近くに生家のある詩人・中村雨紅が作詞した童謡「夕焼小焼」にちなむ。

(4) 心源院

松暇様は金照庵より移り、心源院にて出家して5年ほど居る。山門以外は大战の空襲にてすべて焼失した。

下見に来た時は住職とお話出来ましたが、当日は法事により会うことが出来ませんでした。

ちょうど紅葉の時期で夜にはライトアップされるそうです。

写真(4)-1・2 室町時代からある山門。松姫様も通ったと思われる。

写真(4)-3 山門横の碑 天然理心流、ネット調べたが詳細不明。

写真(4)-4 山門近くの碑 心源院にあった寺子屋の幕末の先生。明治期恩方初の尋常小学校教師。教え子が建立された。

写真(4)-5・6 山門前の碑 小谷田子寅は千人同心で、勉学、特に医学に励み、薬を乞うもの、診断を求めるものがあとをたたず、民衆に慕われたといわれています。地元の文化人グループの記念碑的な遺物です。

写真(4)-7 心源院本堂。焼失以前はもっと大きな建物だったそうです。

写真(4)-8 再建記念碑？ 昭和 20 年、八王子大空襲の際、七堂伽藍の全てが焼失したため、現在の本堂は昭和 47 年に再建した。

写真(4)-9 心源院鐘楼

写真(4)-10・11 心源院堂宇と、のうこつぼ

写真(4)-12 紅葉の美しい心源院境内

写真(4)-13 門柱の裏に寄贈末寺名が彫られていた。



写真(4)-1 心源院山門



写真(4)-2 山門での記念撮影



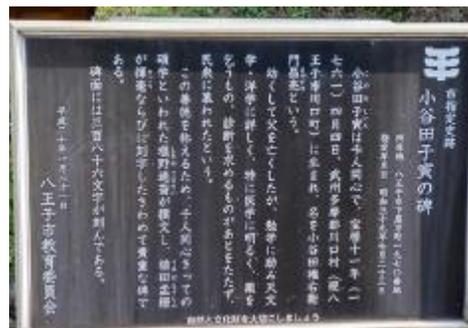
写真(4)-3 天然理心流



写真(4)-4 大石先生の碑



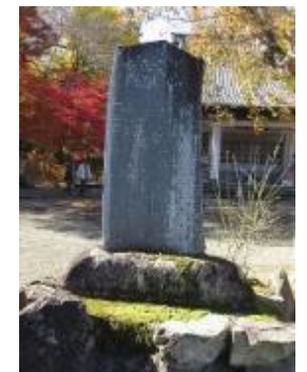
写真(4)-5 小谷田子寅の碑①



写真(4)-6 小谷田子寅の碑②



写真(4)-7 心源院本堂



写真(4)-8 再建記念碑？



写真(4)-9 心源院鐘楼



写真(4)-10 心源院堂宇とのうこつぼ



写真(4)-11 のうこつぼ看板



写真(4)-12 紅葉の境内



写真(4)-13 門柱（末寺寄進彫り）

(5) 信松院

心源院にて自分の庵を持ちたいと移った。その後出来たのが信松院です。

写真(5)-1・2 信松院門、文化財看板

写真(5)-3 門脇像 松姫様東下像

写真(5)-4 信松院食堂にて昼食 コヒー付

写真(5)-5 本堂にて、西村住職より顕彰会との合同慰霊祭の話や、松姫様 400 回忌祭などのお話をお伺い致しました。

400 回忌祭をする前に、高遠城跡や新府城跡を巡り松姫様の想いを馳せた。

通常準備に 1 年掛るところを、半年で準備されましたが道路を通行止めなどして盛大に出来たそうです。

最近は八王子の観光資源にもなり、今年のお正月 1 日～10 日の参詣者は 1 万 5 千人のもなり身近になった。

* 参拝時にはアルコールは控えるように注意されました。

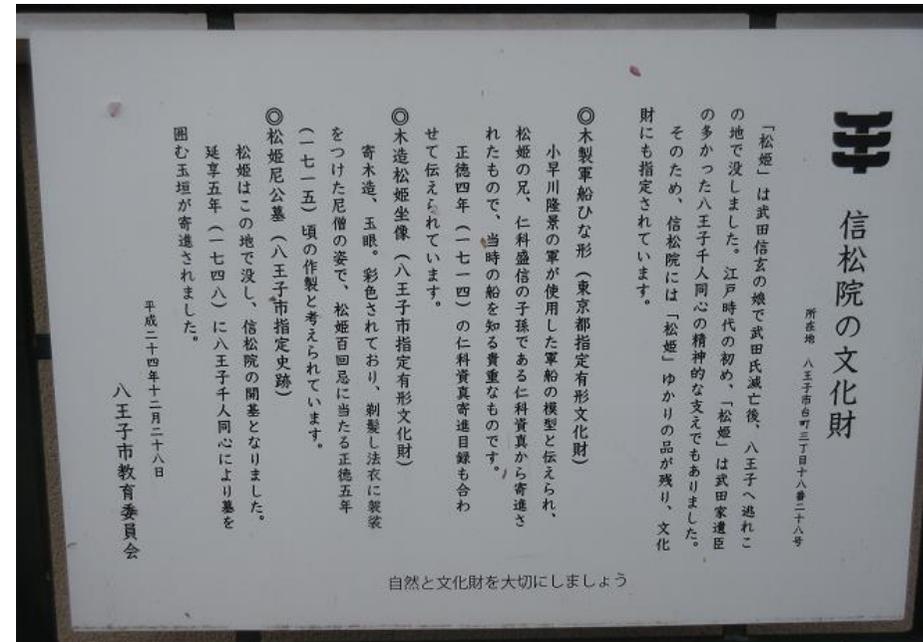
写真(5)-6・7 松姫様 400 回忌祭の写真

写真(5)-8 本堂正面の掛け軸

写真(5)-9・10 本堂内正面と右脇の屏風



写真(5)-1 信松院門



写真(5)-2 信松院文化財看板



写真(5)-3 松姫様東下の像



写真(5)-4 信松院食堂にて昼食



写真(5)-5 西村住職のお話を聞く



写真(5)-6 松姫様 400 回忌祭写真①



写真(5)-7 松姫様 400 回忌祭写真②



写真(5)-8 本堂掛け軸



写真(5)-9 本堂床の間



写真(5)-10 本堂内屏風

写真(5)-11～18 本堂内正面裏の部屋いつもは拝殿出来ないところ。

写真(5)-11 松姫様像左の像 *2022年4月撮影

写真(5)-12 松姫様像と位牌 *2022年4月撮影

写真(5)-13 松姫様像右の像 *2022年4月撮影

写真(5)-14 安宅船写真 *2022年4月撮影

写真(5)-15 安宅船模型 *2022年4月撮影

写真(5)-16 松姫様 100回忌?の文書

写真(5)-17 豊臣秀吉公書 *2022年4月撮影

写真(5)-18 松姫様逃避経路略図 *2022年4月撮影



写真(5)-11 松姫様像左の像



写真(5)-12 松姫様像と位牌



写真(5)-13 松姫様像右の像



写真(5)-14 安宅船



写真(5)-15 安宅船模型



写真(5)-16 松姫様 100 回忌? の文書



写真(5)-17 豊臣秀吉公書



写真(5)-18 松姫様逃避経路略図

写真(5)-19 松姫尼公墓の看板 *2022年4月撮影

写真(5)-20 松姫様公墓 *2022年4月撮影

松姫様お墓の脇に、東下を共にした金丸家の墓があり、ずうっと松姫様を守っていたことが分かる。

松本相談役の配布資料で墓碑より家系が分かります。

※お墓に向う観音堂脇の道で竹垣根の造り直しをされていた。何年で造り直しですかと質問 職人回答：4・5年

写真(5)-21 松姫様墓所での記念撮影

写真(5)-22 布袋尊（観音堂半地下） 八王子七福神

写真(5)-23 布袋尊（観音堂脇）

写真(5)-24 観音堂・舍利殿説明石版

写真(5)-25 観音堂 *2022年4月訪問時撮影



写真(5)-19 松姫尼公墓の看板



写真(5)-20 松姫尼公墓写真



(5)-21 松姫様墓所記念撮影



写真(5)-22 布袋尊（観音堂半地下）



写真(5)-23 布袋尊（観音堂脇）



写真(5)-24 観音堂・舍利殿説明石版



写真(5)-25 観音堂

(6) 首洗池 * (1-2) 項よりの続き

武田本体が小田原を攻めた後に甲斐への帰路に三増峠の戦いをした後、「三万の軍勢が三方に分かれ、一隊が」首洗池で首を洗いで首実検をした。首は近くの首塚に葬った。 * 「 」内看板の説明と異なる。

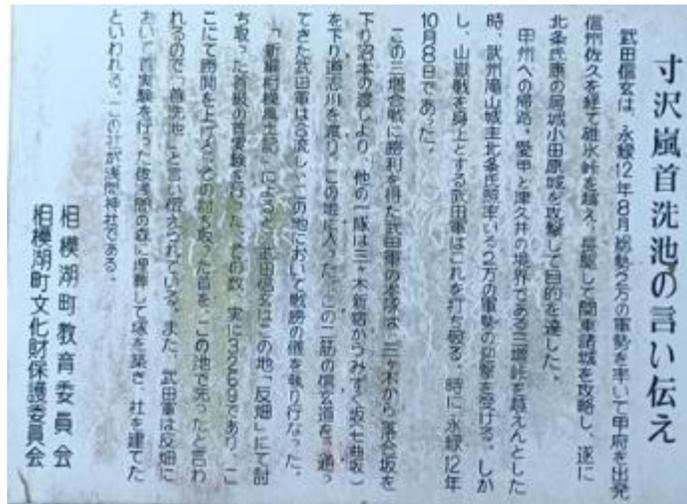
上野原で合流し牛倉神社で休んだが、寒いので神社の壁板を剥がして燃やし暖をとった。信玄は、甲府に帰陣後牛倉神社を建て直した。

※ 参加者感想 こんなところで1万の兵士が三千の首を洗えるのか？

考察：当時は原っぱで回りの建屋は無かったと思われる。当然池の形も同じかは分からない。

※ 令和4年度(2022年11月)郷土の歴史探検ツアー 浅利地区にて下記の説明を受ける

戦国時代の子孫で武田家の家臣浅利信種は、三増峠の戦いで活躍したが鉄砲で撃たれて亡くなった。愛川町より骨が出てきた際に何カ所かに声をかけたようで、浅利では分骨して頂き與市像横に納骨した。



写真(6)-1 信玄首洗池看板



写真(6)-2 信玄首洗池

(7) 大月駅

途中バス内で小俣会長が、本日作成の短歌披露。

以上 30分遅れですが大月駅に22名無事に戻りました。